

## 子ども家庭総合支援拠点の設置

133万円

- 子ども家庭総合支援拠点とは  
子どもとその家庭や妊産婦を対象に、相談全般から児童虐待などの専門的な相談対応や訪問などによる継続的なソーシャルワークまで行う

- Q 設備設置工事、事業用備品購入の内容は。
- A 相談員となる保育士を一人増員し、子ども応援課カウンター前に親子交流スペースの設置、相談室の整備などを行う。福祉課横の相談室のLAN整備工事、事業用備品は子ども総合支援拠点の設置に必要な備品の購入費である。

## 予防接種健康被害調査委員会の設置

2万円

- Q ①何を話し合う委員会か。  
②令和3年度は後遺症相談、健康被害申請は何件あったのか。  
③相談窓口はどこか。
- A ①健康被害申請の内容が適切なものであるかどうか審議し、県を通じて国へ申請する。健康被害とコロナとの因果関係の認定は国が行う。委員は西名古屋医師会会員2名、学識経験者、清須保健所長の4名となっている。  
②令和3年度の相談件数は6件、申請件数は1件である。  
③相談窓口は保健センターである。

## 愛知県植樹祭の開催

190万円

- 植樹祭とは、緑化に対する意識高揚を図り、みどり豊かな環境づくりを推進することが目的

- Q 50周年記念イベントとして愛知県植樹祭が予定されているが、どのような内容か。
- A 春の緑化強調期間の中心行事として、愛知県、公益社団法人愛知県緑化推進委員会との共催で5月28日に実施する。式典は社会教育センターアリーナ、記念植樹を神明公園で行う。式典では標語・ポスターコンクールなどの表彰、みどりの少年団によるみどりの誓いを行う。



## プレミアム付商品券事業の実施

3791万円

- Q プレミアム付商品券事業の概要と販売方法の見直しは。
- A 令和3年度と同様にプレミアム率40%、額面7,000円の商品券を1冊5,000円で販売する。発行冊数は14,000冊、販売総額は7,000万円、額面9,800万円を予定している。令和3年度は1次販売で約6割の売れ残りが生じたため、他の市町村を参考にしながら、販売方法の見直しを検討する。

